

数理科学演習

4単位 4年(通年)

中山 慎一・准教授 / 総合理数学科

【授業目的】 コンピュータ発展と共に、近年めざましい発展を遂げている数学の分野に離散数学がある。離散数学は離散的な対象を扱う数学であり、論理回路、アルゴリズム、データ構造、情報理論その他多くの情報科学分野を学ぶのに必要な基礎知識である。本講義では、離散数学の中で特に集合論、組み合わせ論、グラフ理論について学ぶ。

【授業概要】 離散数学について学ぶ。学んだことを確認するために、必要に応じて実習を行う。

【キーワード】 離散数学、グラフ理論

【先行科目】 『ネットワーク論』(1.0), 『情報数学』(1.0), 『ネットワーク最適化論』(1.0)

【関連科目】 『ネットワーク論』(0.5), 『情報数学』(0.5), 『ネットワーク最適化論』(0.5)

【履修上の注意】 卒業研究テーマに関連した基礎知識の修得に積極的に取り組むこと。

【到達目標】 各自の卒業研究テーマに沿って、自主的に研究をすすめる。

【授業計画】

1. セミナー形式で行うが内容は以下のとおりである。
2. 集合論
3. 組み合わせ論
4. グラフ理論

【成績評価】 授業への取り組み状況および発表態度などをもとに総合的に評価する。

【再試験】 無

【教科書】 受講生との相談による研究テーマ内容と基礎知識を判断した上で決定する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219270>

【連絡先】

⇒ 中山 (1204, 088-656-7223, shin@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日 16時10分~17時)